

## 自主防災組織 地域の皆さんへ

地震発生時の行動パターンを伝授しましょう！

## 震度6強 シミュレーション

震度6強の地震をイメージしましょう。

(家の耐震強化あり/家具の固定ありの場合)

ある日あなたはリビングでテレビを見ていました。  
突然テレビから「緊急地震速報」が流れました。



Q：他の部屋には家族がいます。どうしますか？

A 速報を大声で伝える

まずは大声で家族全体に知らせることが大切です。

- ・ 緊急地震速報が出たあと、地震が到達するまでわずかな時間しかありません。速報を見たり聞いたりしたら、何を言うか、何をするのか事前に家族で話し合ひましょう。

「おーい！地震がくるぞー！」あなたは速報を大声で家族に伝えました。

Q：コンロには煮立っている鍋があります。どうしますか？

A 何もせず熱湯の危険がおよばない場所へ避難する

鍋の中の熱湯や熱い油から遠ざかることが大切です。

- ・ 緊急地震速報の後、地震到達までの時間がわからない状況では、煮込んでいる鍋が落ちてきても影響がない場所まで避難することが、もっとも危険度が低いです。コンロの火がついたままでも震度5以上の揺れを感知すれば自動的にガスは止まります。もし、火が出てしまったら、慌てず初期消火につとめましょう。

Q：あなたは自分の身の安全を確保しなければなりません。どうしますか？

A 強度のあるテーブルの下などに入る

まず頭と目を守りましょう。

- ・ もし外にいる場合は、カバンなどで頭を守ることを意識しましょう。  
必ずしも強度のあるテーブルの下が安全というわけではありません。建物が倒壊した際には、テーブルがつぶれる可能性がありますので、事前に耐震診断を受けましょう。

あなたはテーブルの下に避難し、テーブルの足にしがみつき大揺れの中、身の安全を確保することができました。

お鍋が落下！コンロから離れていたの、やけどを負わなくてすみません。

家は耐震強度があったおかげで倒壊せずにすみませんが、電気・ガスなどのライフラインは止まってしまいました。

家具は壁に固定してあったため、倒れずにすみません。

「おーい！みんな大丈夫かー！ケガしてないかー！」あなたは家族の身の安全を確認するため大声で叫びました。

家族の安全を確認することができました。

Q：あなたは散らかった家の中を移動しなければなりません。どうしますか？

A スリッパを履いて移動

足の裏を保護しましょう。

- ・何も保護しないと散乱したガラスの破片で足の裏を切り、避難できなくなってしまう。スリッパを履くことが最も安全ですが、無い場合には雑誌や新聞などを床にひいたり、またはタオルやシャツなどで足の裏をカバーするのもよいでしょう。

家の倒壊はないので、落ち着くまで待機することにしました。



携帯ラジオで、地震関連の情報を収集することにしました。

Q：ライフラインが止まり飲料水も確保できません。そのため、家族で一時避難所へ行くことにしました。どうしますか？

A 電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓をしめる

- ・電気はブレーカーを落とし、通電火災を防ぎましょう。また、ガスについては、キッチンの元栓ではなく、外にある大元をしめましょう。

通電火災とは...地震後の停電を経て再び電気が通じたときに電源が入ったままの電化製品から出火する火災です。

さあ、避難しましょう。あなたはまず、家族と近くの一時避難所へ向かいました。

一時避難所とは...危険を一時的に回避する場所、地区で決められた避難場所

指定された避難所が開設されたら、状況に応じて移動します。

近所で助けが必要な人がいれば、できる限りのことをしてあげましょう。

さまざまな状況が待ち受けていますが、柔軟に対応しましょう。

## 自主防災組織 地域の皆さんへ

安否確認の方法を伝授しましょう！

## 災害伝言ダイヤル「171」

大規模な災害が発生して電話がつながりにくいときは、安否の確認や連絡用に利用できる「災害用伝言ダイヤル171」を活用しましょう。

### 1 利用できる電話

- ・一般加入電話
- ・公衆電話
- ・ひかり電話
- ・携帯電話、PHS



### 2 利用方法

- ・伝言の録音方法
  - 「171」にダイヤルする  
ガイダンスが流れる
  - 「1」をダイヤルする（暗証番号を利用するときは「3」）  
ガイダンスが流れる
  - 市外局番からダイヤルする

伝言を録音する（30秒以内）

- ・伝言の再生方法
  - 「171」にダイヤルする  
ガイダンスが流れる
  - 「2」をダイヤルする（暗証番号を利用するときは「4」）  
ガイダンスが流れる
  - 市外局番からダイヤルする

録音された伝言が流れる

（伝言を追加して録音するときは「3#」をダイヤル

伝言保存期間は2日間（48時間） ただし、災害の状況により異なるので最新の情報はNTTのホームページ等を確認ください。

- ・災害時以外にも体験できるように「体験利用日」が設定されています。
  - 体験期間 毎月1日及び15日、正月三が日、  
防災週間（8月30日～9月5日）  
防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）

## 災害用伝言板サービス

災害発生時には、携帯電話のインターネット接続機能で伝言を文字によって登録し、携帯電話番号をもとにして全国から安否情報を確認することができます。

### 1 伝言の登録方法

携帯電話から災害用伝言板にアクセスします。

(災害時は、各携帯会社のトップ画面に災害用伝言板の案内が表示されます。)

災害用伝言板の中の“登録”を選択します。

(登録は被災地域内の携帯電話からのアクセスのみが可能です。)

現在の状態について「無事です」等の選択肢から選び、任意で100文字以内のコメントを入力します。

最後に“登録”を押して、伝言板への登録が完了となります。

### 2 伝言の確認方法

災害用伝言板にアクセスします。

(伝言の確認はパソコンからも行うことができます。)

- ・ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi> NTTドコモ
- ・ <http://dengon.ezweb.ne.jp/> KDDI au
- ・ <http://dengon.softbank.ne.jp/> ソフトバンクモバイル

災害用伝言板の中の“確認”を選択します。

(確認は全国からのアクセスが可能です。)

安否を確認したい方の携帯電話番号を入力し“検索”を押します。

伝言一覧が表示されますので、詳細を確認したい伝言を選択してください。



**自主防災組織 地域の皆さんへ**

射水市メール配信サービスへの登録を勧めましょう！

防災情報などをメールで配信「射水市メール配信サービス」

---

携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した方に、防災・緊急情報や気象警報注意報などが届くサービスです。

最新の気象情報の収集や、速やかな避難行動につなげるなど、災害への備えとして登録しましょう。

メール配信で登録できる情報

防災・緊急情報メール

消防本部からお知らせする火災情報のほか、市が緊急を要すると判断した防災情報やイベント中止の案内などの緊急情報を受信

希望する情報のみ選択可能です。

気象警報注意報メール

気象庁から発表される警報・注意報情報のうち射水市に関する情報を受信  
希望する警報・注意報情報のみ選択可能です。

〔警報〕大雨、洪水、暴風雨、暴風雪、大雪、波浪、高潮、大津波、津波

〔注意報〕大雨、洪水、大雪、高潮、津波、風雪、強風、波浪、雷、融雪、  
濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪

登録方法

携帯電話やパソコンから、次のアドレスに空メールを送信してください。

[mag.acpt@city.imizu.toyama.jp](mailto:mag.acpt@city.imizu.toyama.jp)



QRコードからアドレスを読み取ることができます。

「利用申込受付のお知らせ」メールが届いたら、登録リンクURLに接続してください。

画面にしたがって登録を行ってください。